

「ようこそ海から高砂へ」

Well come form the sea to TAKASAGO

今流北前船

帆船みらいへ@高砂

来歴：本書は神戸商工会議所へ活動内容等をお伝えする為の資料。



はじめに

15年前にNPOを設立、ヨット利用の体験活動を行なってきました。(末尾リーフレット等参照)

7年前ヨットで北前航路を辿る旅をする、帰港して直ぐに高砂市長を訪問して北海道江差町からのメッセージ等をお伝えして日本遺産への参加を促しました。

また北前船と近代ヨットの動く原理を知る等を含めたトリニティー体験学習*メニューを作り、それを観光交流ビューロー・工楽松右衛門旧宅、地元歴史研究家、県民局環境課を交え、地元小学生等へ体験学習を提供しております、集客等を含め普及において苦戦を伴いながらも実践しています。

また帆船みらいへの来高のおもいを昨年実現、みらいへを今流北前船に見立て、謡曲高砂にある「この浦舟に帆をあげて」を高砂商工会議所会頭、JTBをはじめとする関係者皆様とで実現しました。

帆船みらいへの体験プログラムを中心に、環境を観光資源に、トリニティー体験を観光資源とする体験型観光を模索、推進しております。

今後、みらいへが令和北前船として、全国の北前船寄港地集落等をネットワークにして北前船航路を辿り、海洋環境、北前文化、物流の歴史等々の情報発信から、地域研究等にも繋がればと思います。

トリニティー体験（三位一体）とは

- ①郷土の歴史に触れる。②海洋プラスチック環境を身近な堀川運河と播磨灘で触れる。
- ③松右衛門帆の北前船とスポーツであるヨットの動く原理は同じを体験。

参加者はワンストップで体験できる仕組みである。



トリニティーの概要

ご参考

- ① 播磨灘や堀川運河から派生した郷土の歴史に触れる機会。
日本遺産と海の文化、江戸時代からものづくりの高砂、港町であったことなどをかるた取りや紙芝居で気軽に郷土の歴史に触れ学ぶ等を体験。
- ② 海洋プラスチックごみ問題に触れる機会。
テキストをもとに座学を体験します。
堀川運河でプラスチックゴミを見つけたらヨットで回収します。
播磨灘でヨット帆走しながらプランクトンネットで採集して顕微鏡等で観察、今後は小中高生の自由研究等の支援に繋がりたい。
海域をエリア区分してGPSで採集航跡を記録。（観天望気）
- ③ 北前船が風で動く原理を知る機会。
高砂沖で松右衛門帆の北前船と海洋スポーツでもあるヨットの動く原理は同じを学ぶ。
播磨灘の風を受けて操船等を体験します。



サステイナブルに触れる

高砂にしかないもの・強みは

江戸時代の循環型社会はSDGsの先取り、工楽松右衛門旧宅もサステイナブルな家屋、例えば、板塀は高瀬舟の船側・底板を再利用している。

松右衛門は松右衛門帆をはじめ築港設備の発明者、それを製造特許を放棄して全国に普及させるものづくり加工技術者である。道具を含め凡ゆるモノを大切に作る。築港の遺構は今の現役設備として機能している。

海岸線にある現代の高砂は世界の一流品メーカー工場があり環境問題に取り組む、カネカの生分解性バイオポリマー（プラスチック代替素材）、サントリーのペットボトル再利用システム、三菱高製の水素燃料利用のタービン研究と高砂水素パークの整備検証。

江戸時代松右衛門翁の発明とモノ作りが、今に繋がっていることに触れる。



以下、ヨットを利用したトリニティー体験学習の風景写真

堀川運河・播磨灘はロンドンへ繋がる（国際性）

プラスチックゴミは河川から
世界の海へ



pm参加チーム

am参加チーム



堀川運河そばの工楽松右衛門旧宅を利用した 海洋プラスチック環境と郷土の偉人・歴史学習の風景

- 堀川運河環境学習
- 松右衛門紙芝居
- 郷土の歴史学習



- 工楽家旧宅と堀川運河を繋ぐ



北前船とヨットの動く原理を体験・海から住む町を見る 非日常な体験

高砂沖から住む街を見て地勢を知る、播磨灘の自然環境を再認識する。

高砂沖から世界の一流品、環境保全の製品を作る工場群を見る、モノづくりの町に誇りを持つ。



郷土の歴史に触れる。
紙芝居とか、かるたで偉人を知る。



海洋プラスチックと江戸のSDGsに触れる 板塀は高瀬舟廃材利用



堀川運河のプラスチックゴミ拾い体験 月例体験行事でのひとコマ



堀川運河のプラスチックゴミ拾い体験する小学生



参加者のお母さんコメント「この子達の年齢から環境問題を教えねばなりませんね」。

ヨット利用の海洋マイクロプラスチック 採集テスト状況



ガールスカウト中学生隊員2名とOG母親が採集テストに特別参加。
自由研究学習アイテムの一環の話をする、参加したいと言いつつ、
このプロセスが大切と娘たちに話しかけていた。

堀川運河のプラスチックごみ拾い日体験のツール

a参加者はバッチ
を付ける



cポールに回収中旗を掲揚



b参加者にリーフレット配布

海の環境問題に対する、わたし達の取り組み

私たち NPO 法人高砂海文化21C は環境省の推進する「プラスチック・スマート」キャンペーンに賛同、フォーラムに参加して、出来ることから行動します。

- セーリング中に、海面でプラスチック浮遊物を見つけたら、艇の安全確保を行なったのち、直ちに回収します。
- セーリングイベントにおいて、プラスチックが海洋生物に与える影響などを紹介して、海を汚さないようにしようと呼びかけます。
- はばひろく、海の豊かさを守ろうと呼びかけ、海洋環境保全の課題を共有して、対策を考え、身近に出来ることを実践します。

NPO 法人高砂海文化21C

セーラーのみならず、セーリングイベント参加のみならず、多くのみならずへ国連の推進する持続可能な開発のための 2030 アジェンダに掲げられた 17 の「持続可能な開発目標 (SDGs)」の中の #14「海の豊かさを守ろう」と、環境省の推進する「プラスチックによる海の汚染問題」に対して、身近に出来ることを考え、一緒に取り組みましょう。

2030年に向けて世界が合意した「持続可能な開発目標」です

2019/8/6/00

dマストに回収中旗を掲揚

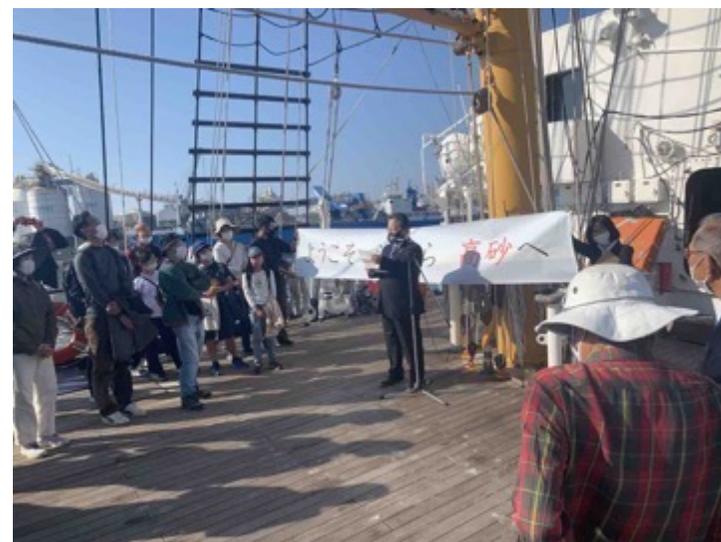




以下、帆船みらいへが持つ研修プログラムをベースに体験型観光を実践した写真

帆船みらいへ高砂初入港

ようこそ海から高砂へ副市長挨拶



砂山の高砂港へ繋留風景

立派な室津港の風景



帆船みらいへのマイクロプラスチック採集風景



環境座学風景



みらいへのレギュラー研修+郷土の歴史ミニ研修
=トリニティー体験



チームワークで主帆をあげる風景



松右衛門帆の北前船も
同じように帆をあげた

初冬の雨のなかでも

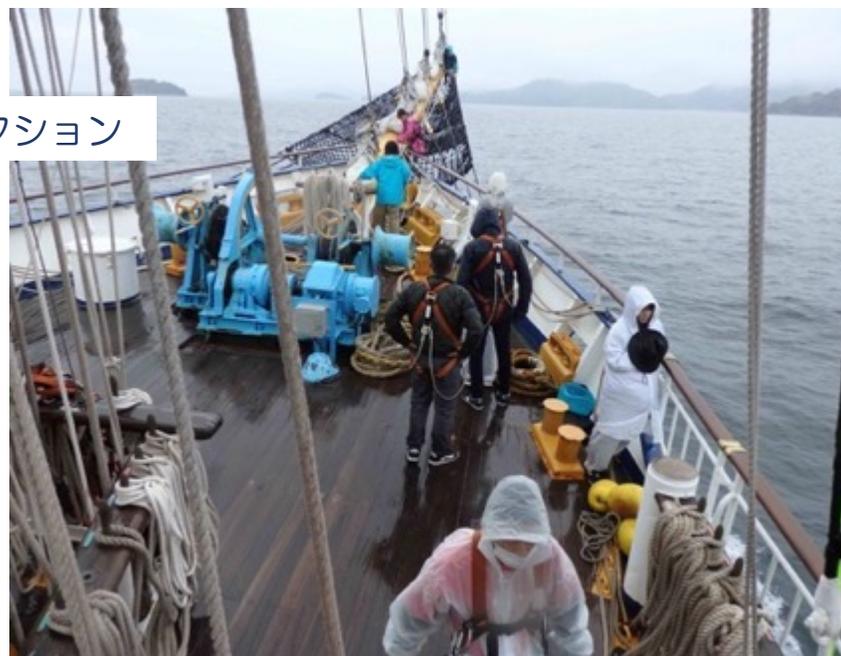


体験型観光事業の実証実験
世界最長大橋をくぐるシーン



女性クルーの
マストクライム

舳先に移動するアトラクション



工楽家旧宅前の堀川運河で
ヨットに乗船、帆船みらいへまで運河の景色を楽しみながら、運河の歴史を知る。





BBQディナー & 宿泊のお客様



夕暮れ時の風景

船内宿泊生活説明の風景



BBQディナー風景



デッキパーティー風景



宿泊客の体験
朝のデッキ磨きの風景





宿泊客のミーティング
ラジオ体操風景



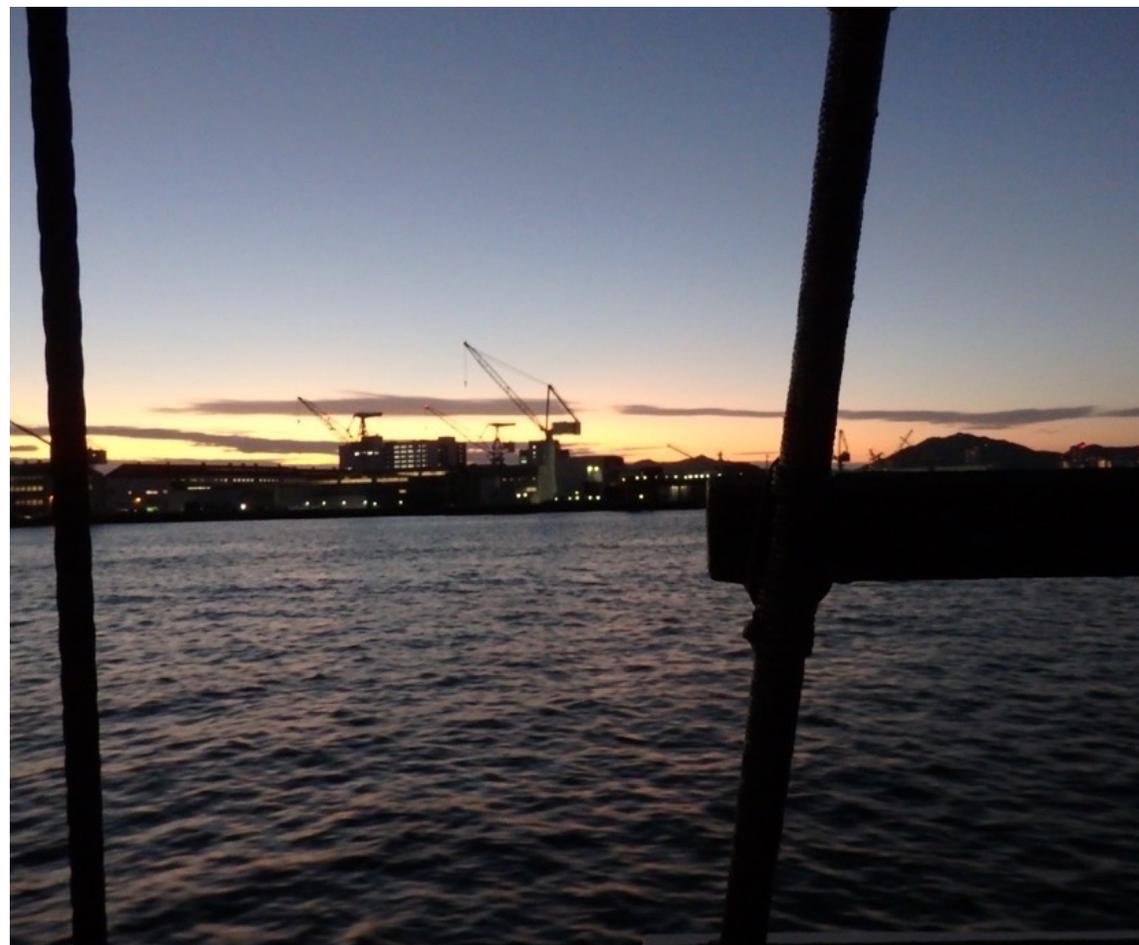
神戸港、
夜景を楽しむ入港

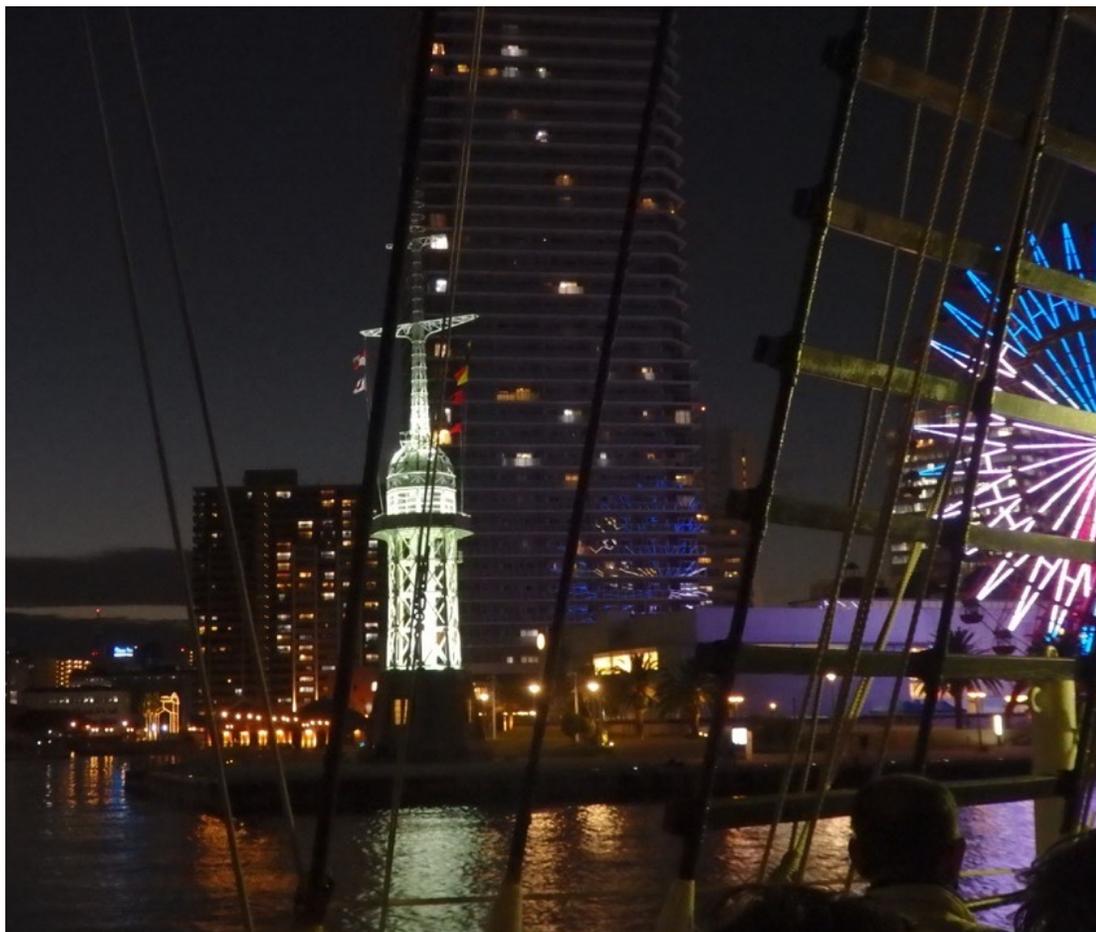




帆船みらいへ母港の
夜景をガイド

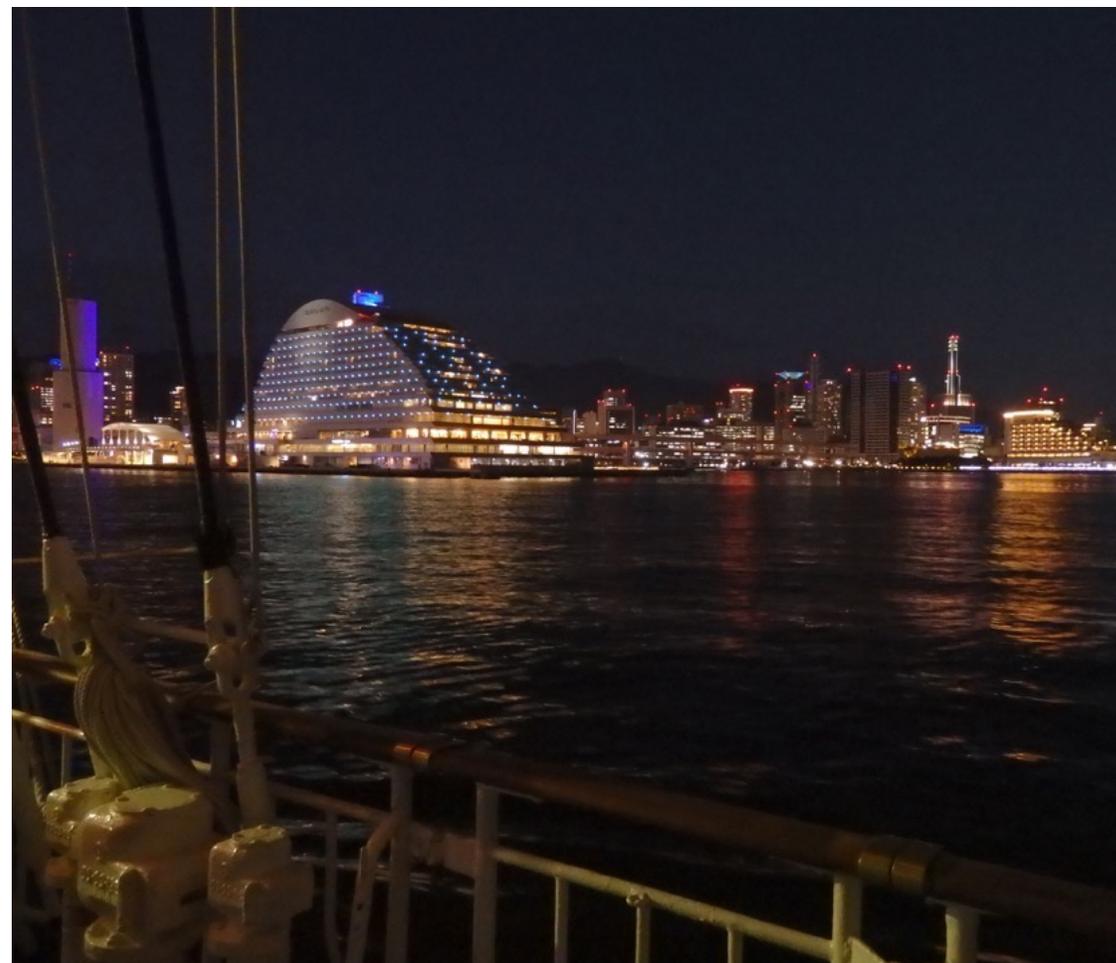
北前船寄港地・兵庫津エリア





神戸港中突堤史の
シンボル灯台

神戸メリケンパーク
オリエンタルホテル灯台





ホテルオークラを見る

メリケン波止場対岸



Mosaic側の観客



みらいへ左舷の乗船客



灯台の信号旗は
U W & KOBE



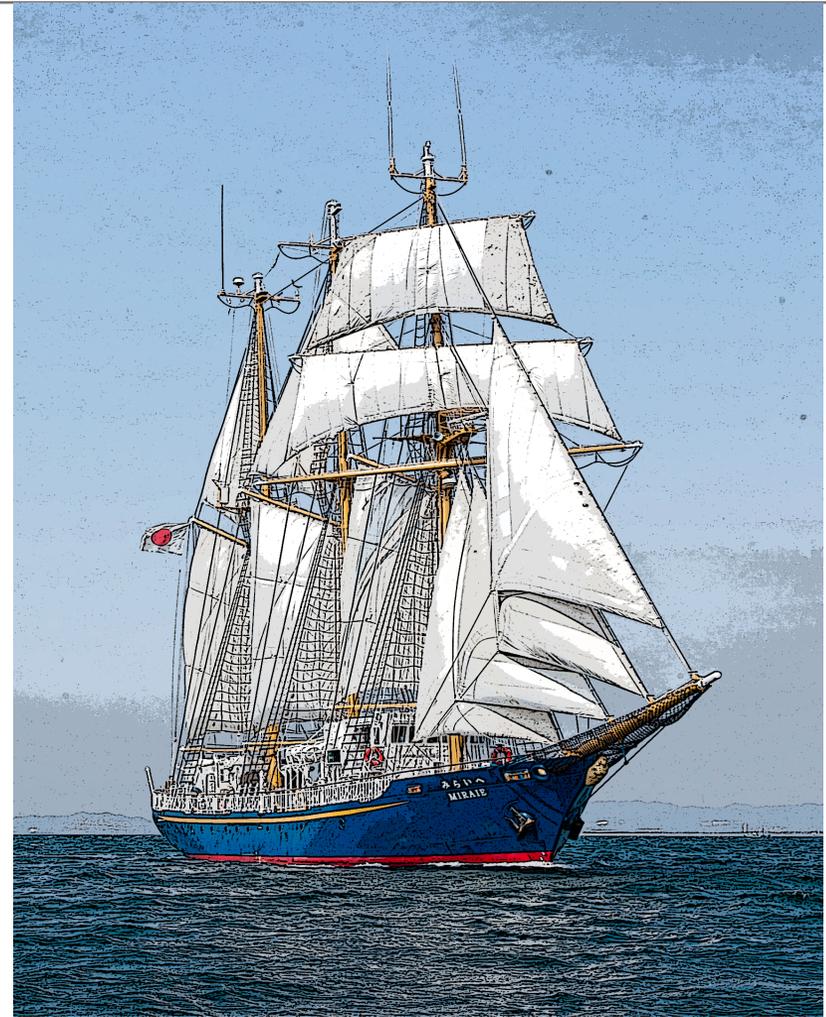
「過去と未来から学ぶ」
手作りポスター展開



10/8 9:30am~2:30pm

今流 北前船
帆船みらいへ@高砂

水主の末裔若衆たちは、この日だけパイレーツになる。
目をとめた君、...なってみないか。



高砂や、この浦舟に帆をあげて

Well come from The sea to TAKASAGO
Shall we raise the sails of kono Urabune MIRAIE

modern Kitamaebune
Hansen Miraie@TAKASAGO



北前船寄港地ツアーコース2022

- Aコース兵庫津（神戸港）～高砂体験航海と高砂まちあるき（日帰り）
- Bコース高砂港サンセットクルーズ、高砂～室津体験航海と室津のまちめぐり（1泊2日）
- Cコース室津のまちめぐりと室津～高砂体験航海（日帰り）
- Dコース高砂～室津体験航海と室津のまちめぐり（日帰り）
- Eコース高砂～兵庫津（神戸港）体験航海（日帰り）



帆船みらいへ参加者の印象コメント2022

大人の乗船体験者からは（含むメールでのコメント）

- ①強烈なまでに深く記憶に刻まれる一日だった。
- ②帆船みらいへは世代を超えて楽しめる上に教育効果が絶大。
- ③不定期で北前航路を運行してはどうか。
- ④高砂の港を綺麗にして欲しい。
- ⑤高砂はいい街、知らなかった。

子どもからは

- ①船上での海洋プラスチック採取は初めて、いい経験になった。
- ②歴史と環境の座学を子ども向けにして欲しい。

月例ヨットトリニティー行事体験参加者の声

- ①この子たちの齢から、灘や運河の環境保全を伝えないとなりませんね。
- ②運河をヨット体験で巡る、まあこんな風景があるとは、。。
- ③高砂で生まれ住んでる女性曰く、孫とヨットに乗りフッと思う、この歳になると住む町の良さがわかる。
- ④働くある高齢女性、運河も灘もみんなのもの、うまく使うことが大切、娘と孫をヨットに乗せて。
- ⑤東風の請波止をみて、ここにも松右衛門さんの遺構があるとは、。。

2023年
JTB協働プロジェクト
募集チラシ

帆を体験!

帆船みらいへ体験航海と北前船寄港地・船主集落高砂まちあるき

帆船みらいへ
高砂まちあるき



令和5年 旅行設定期間
10/7(土)~9(月)

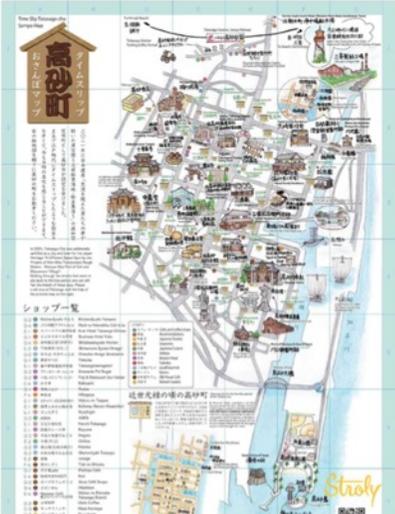
令和5年度 観光庁インバウンドの地方誘客や消費拡大に向けた観光コンテンツ造成支援事業
松右衛門帆船ゆかりのまち 高砂海文化体験推進事業

旅行企画・実施 株式会社 JTB 姫路支店
事業主体 特定非営利活動法人高砂海文化・IC
協力 高砂市 一般社団法人高砂市観光文化センター 高砂マリンクラブ 高砂市まちづくり協議会

高砂町おさんぽマップ

日本遺産北前船寄港地・船主集落 江戸の町割り、昭和の町並みが残る、船びのまち「高砂」散歩〜タイムスリップ 高砂町おさんぽマップ

江戸時代から続く高砂。高砂は今も旧来の風情を残しています。タイムスリップしたかのように見える船びのまちのマップで高砂の歴史や文化を学び、高砂を巡ってください。おさんぽマップで高砂の歴史や文化を学び、高砂を巡ってください。



ショップ一覧

近世元禄の頃の町割り

帆を体験! 高砂ヨットセーリング体験と高砂まち並み散策(日帰り)

令和5年度 インバウンドの地方誘客や消費拡大に向けた観光コンテンツ造成支援事業
松右衛門帆船ゆかりのまち 高砂海文化体験推進事業

帆船みらいへ体験航海と高砂まち並み散策

旅行日 2023年
8月26日(土)
9月3日(日)・23日(水)・24日(木)・30日(日)
10月1日(月)・14日(水)・21日(水)

参加料 大人 6,000円(税込) 7,800円
小学生 3,000円(税込) 4,800円
中学生 4,000円(税込) 5,800円
高校生 5,000円(税込) 6,800円
中学生以上は別途保険料がかかります。

参加人数 各日1名 18歳以上で中学生以上、参加人数10名以上
ガイド 同行しませんが、乗務員が対応します。

予約期間 小学年以上 旅行前日の前日、中学生以上 旅行前日の前日、高校生以上 旅行前日の前日
申込期間 旅行前日の前日、旅行前日の前日、旅行前日の前日
旅行 旅行前日の前日、旅行前日の前日、旅行前日の前日

お問い合わせ/お申し込み
TEL 079-289-2120
MAIL himej_desk@jtb.com

2022年
同プロジェクト
募集チラシ

高砂ノスタルジア

江戸の町割り、昭和の町並みも行く、ふりかきまちあるき

旅行日 2022年
10/15(土)・16(日)・23(日)・29(土)・30(日)
11/5(土)・19(土)・20(日)・26(土)・27(日)

旅行料 大人 2,000円(税込) 小学生 1,000円(税込) 中学生 1,500円(税込) 高校生 2,000円(税込)

お問い合わせ/お申し込み
TEL 079-289-2120 FAX 079-281-5545
株式会社 JTB 姫路支店

Stroly高砂デジタルスタンプラリー

高砂まちあるきの10箇所のスポットを巡りながら、スマホを使ってスタンプを集めます。参加は無料、各7以上のスタンプがたまれば、先着100名様に素敵な景品をプレゼント! 景品の交換は「まちの観光食館 船びん」にて。

旅行日 2022年
10/1(土)~11/30(水)

参加料 無料

お問い合わせ/お申し込み
TEL 079-289-2120 FAX 079-281-5545
株式会社 JTB 姫路支店

高砂と室津

日本遺産 北前船寄港地・船主集落

帆船みらいへで巡る

旅行日 2022年
11/12(土)~14(月)

旅行料 大人 2,000円(税込) 小学生 1,000円(税込) 中学生 1,500円(税込) 高校生 2,000円(税込)

お問い合わせ/お申し込み
TEL 079-289-2120 FAX 079-281-5545
株式会社 JTB 姫路支店

高砂と室津

帆船みらいへで巡る 日本遺産 北前船寄港地・船主集落 高砂・室津

旅行日 2022年
11/12(土)~14(月)

旅行料 大人 2,000円(税込) 小学生 1,000円(税込) 中学生 1,500円(税込) 高校生 2,000円(税込)

お問い合わせ/お申し込み
TEL 079-289-2120 FAX 079-281-5545
株式会社 JTB 姫路支店

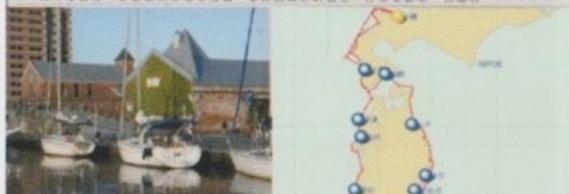
海の文化活動への取り組み 松右衛門帆・北前船航路を辿る

高砂から小樽へ松右衛門帆・北前船航路を辿る航海に挑戦しました。日本海と瀬戸内海の港町を訪ねて、松右衛門帆の資料収集や北前船寄港地高砂の地名を探る傍、地元役所や郷土資料館、博物館を訪ね得た北前船の日本遺産登録の情報等を高砂市長へ報告しました。時折、5mを越える波にもまれながらの88日間、4800kmの航海では寄港地での人々との出会いや海の文化に触れ、改めて松右衛門帆・北前船の認識を深める旅となりました。

航海日誌：<http://kurenai-y.blogspot.com>

3カ月ぶり高砂帰港
工業松右衛門の足跡めぐる船旅

河合さん、小田さん「旅の成果、市に伝えたい」



北前航路 ヨットで体感

「行舟一航路中に出ては自給自足の生活を送る」と北前船の歴史を体感するヨットの航海。高砂市の高砂港から出帆したヨットの航海。2019年、松右衛門帆の航海。高砂市長へ報告した。高砂市長へ報告した。高砂市長へ報告した。

松右衛門の歴史遺産「あちこちで高砂の地名」

海域の環境保全・安全に関する 事業推進

環境保全事業に関しては、私たちは環境省の推進する、プラスチック・スマートフォーラムに参加しています。国連の推進の持続可能な開発目標（SDGs）の#14海の豊かさを守ろうと環境省推進のプラスチックによる海の汚染問題に対して堀川運河のプラスチックごみ回収など身近に出来ることを子どもたちと一緒に取り組みます。



安全事業に関しては、行事参加の方々へ体験乗船前の安全教育を海上保安庁指定海上安全指導員が行います。また第5管区海上保安本部指定の安全パトロール艇が当該海域での安全推進活動を行っています。



堀川運河倶楽部
協働行事案内QR

〒676-0041 兵庫県高砂市高砂町今津町533-1
一般社団法人高砂市観光交流ビューロー内
phone : 079-490-4790 fax : 079-490-4798
e-mail : kurakukyutaku@takasago-tavb.com

NPO法人 高砂海文化21C

特定非営利活動法人高砂海文化21Cは、瀬戸内海域の一般市民に対して、マリンスポーツや海の文化の普及・振興の事業を行い、港湾利用者には、海域の環境保全・安全に関する事業を推進します。全ての市民の大切な資源である瀬戸内海において、活力ある町作りに寄与いたします。



2008年7月兵庫県知事認可

npo takasago umibunka 21c



高砂海文化 21C
34.446°N 134.483°E

<http://takasago-umibunka21c.moonbindcloud.jp>

マリンスポーツの普及・振興事業

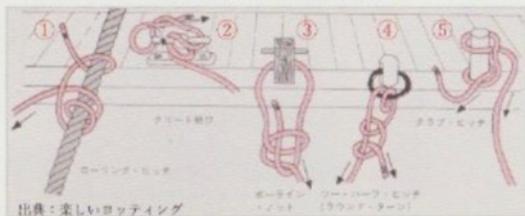
その昔、高砂は港町として栄えました。堀川運河は樫木に囲まれた静かな船溜りとしてその繁栄を支えました。その運河と播磨灘でヨットを利用した親水性を高める事業を推進しています。行政、高砂市観光交流ビューロー、高砂商工会議所、高砂地区まちづくり協議会、ルネサンスみなと町高砂等、諸団体の協力を得ながら活動の幅を更に広げています。

小学生の夏のディンギー教室



小学生達が夏休みに向島公園で世界標準のOPディンギーの操船を学びます。海面で自から、風の向きをよみ、風を掴んでのセーリングを練習。ヨットの操船は自転車に乗る技と似て、乗り方を一度覚えると忘れることはありません。高砂にはセーリング経験した子どもが多くいます。

ヨット教室テキスト part1
ヨットで使うロープの結び方



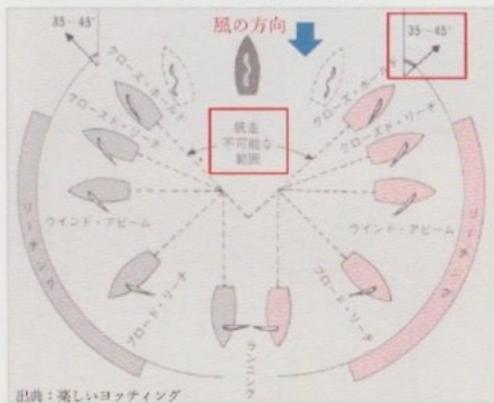
出典：楽しいヨットイング

高校生の万灯祭播磨灘ヨットレース参戦



高砂にある県立高校生達が文武両道チームでヨットレースを盛り上げています。松陽高校はレースのクルーで参戦、高砂南高校書道部は表彰式会場横断幕を揮毫し、高砂高校放送部はレース表彰式の司会進行を担当します。かこ（水主）の末裔達は、ヨットレースを通じてチームワークの大切さを学んでいます。

ヨット教室テキスト part2
ヨットが帆走出来る範囲



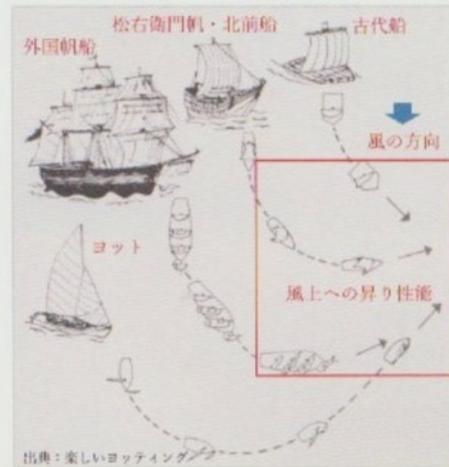
出典：楽しいヨットイング

播磨灘の風でセーリング体験



子どもと大人が集い、播磨灘の風でセーリング体験をする。堀川運河を抜けた海から住む街をみながら、運河は世界に通じていると感じる人もいます。夫々、貴重な体験をされます。

ヨット教室テキスト part3
昔の帆船とヨットの帆走性能



出典：楽しいヨットイング

帆船「みらいへ」概要

運航者 : グローバル人材育成推進機構
用途 : 旅客船 (練習帆船)
総トン数 : 230トン (国内) ・ 362トン (国際)
全長・幅 : 52.16m×8.60m
旅客定員 : 38人 (宿泊の場合)
主機関 : 320PS×1基
帆装 : 3本マスト・総帆数13枚



「ようこそ海から高砂へ」

Well come form the sea to TAKASAGO

今流北前船

帆船みらいへ@高砂